

平成22年度

東京外国語大学附属図書館公開講演会

共催・東京外国語大学出版会



講演者：アーサー・ビナード
詩人・随筆家・翻訳家

1967年、アメリカ・ミシガン州生まれ。大学卒業後の1990年に来日、日本語での詩作や翻訳をはじめ。2001年、詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞を受賞。その他の詩集に『左右の安全』(集英社、山本健吉文学賞)、『ゴミの日』(理論社)、訳詩集に『日本の名詩、英語でおどろ』(みすず書房)、『ガラガラヘビの味—アメリカ子ども詩集』(木坂涼との共編訳、岩波少年文庫)、エッセイ集に『日々の非常口』(新潮文庫)、『日本語ほこりぼこり』(小学館、講談社エッセイ賞)、『出世ミズ』、『空からきた魚』(ともに集英社文庫)絵本に『くさきのお』(福音館書店)、『はちのなかのはちのぼで』(フレーベル館)、『ここが家だ—ベンチャーの第五福竜丸』(集英社、日本絵本賞)などがある。各地での講演活動のほか、文化放送のラジオパーソナリティもつとめる。

—未知のことばをもとめて

もしも文字がなかったら

すぐれた物語はなぜ、文字を越え、時空を越えて私たちを魅了するのだろうか。そんなことばの不思議のなかに、文学の未来があるのかもしれない。母語と日本語とのはざまに立つ詩人が、数々の物語を掘り下げながら、その誕生の秘密と、ことばがもつ豊かな味わいと広がりについて語る。

日時：平成22年12月9日(木)16時30分～18時

会場：東京外国語大学(西武多摩川線「多摩駅下車 徒歩5分」)

アゴラ・グローバル プロメテウスホール

入場無料・事前申込不要

【お問い合わせ先】 附属図書館総務係
Tel:042-330-5193 E-mail:toshou-soumu@tufs.ac.jp

国立大学フェスタ2010